



10人
10色。

「分ける」から
「ごちゃまぜ」へ

マッセ・市民セミナー

地域共生社会の 実現を

日時:令和2年3月10日(火)
14:00~16:30

場所:大阪社会福祉指導センター
5階ホール

(大阪メトロ 谷町六丁目駅3番出口より徒歩5分)



「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが進められる中、地域では、**子どもから高齢者、障がいのある人ない人**など、多様な人が互いを認め合う「ごちゃまぜ」社会の実践が注目を浴び、新しい価値を生みだしています。

一方、障害者差別解消法の施行から3年半が経過。法施行により、障がいのある方の生活はどのように変わったのでしょうか。本セミナーでは、障がいのある方の生活や**教育、スポーツの現場**に焦点を当て、地域共生社会のあるべき姿を展望します。

参加費
無料

【第1部 基調講演】 14 : 05～14 : 55

テーマ「障害者差別解消法と、めざす地域共生社会」◆遠藤 哲也さん(えんどう・てつや)

毎日新聞社「点字毎日」編集長、関西学院大学人間福祉学部非常勤講師

<プロフィール>

1989年毎日新聞社入社。京都、神戸支局、大阪本社学芸部副部長などを経て2018年春から現職。学芸部記者時代の2010年に「点字と視覚障害者の権利擁護に関する報道」で第14回新聞労連ジャーナリスト大賞優秀賞(個人)、第17回坂田記念ジャーナリズム賞(取材班)を受賞。18年には「点字毎日」が日本記者クラブ賞特別賞を受賞。13年度秋学期から関西学院大学非常勤講師。兵庫県芦屋市の障害者(児)福祉計画策定委員、障がい者差別解消支援地域協議会委員などを歴任。長女(25)に重度の知的障害がある。共著に「もう施設には帰らない～知的障害のある21人の声」(中央法規)など。



【第2部 トークセッション】15 : 05～16 : 25

地域共生社会の実現へ ～「分ける」から「ごちゃまぜ」へのパラダイムシフト～

□コーディネーター 遠藤 哲也さん(点字毎日 編集長)

■実践報告

◆インクルーシブ教育の実践 中山 順次さん(豊中市立豊島北小学校 教員)

◆インクルーシブフットボールクラブHalfTimeの取組み

田淵 誠さん(株式会社inC代表取締役、精神保健福祉士)

山元 貴行さん(HalfTime INTERVARO大阪 主将)



※インクルーシブフットボールHalfTimeは、フットボールを通じて共生社会実現を目指すクラブチーム。疾病、障がい、フットボール経験のあるなし、性別・国籍・年齢に関わらず、分け隔てなく参加し楽しめる活動を実施している。

3月10日(火) マッセ・市民セミナー参加申込書 FAX : 06-6764-5374

定員200名(先着順) *ご記入いただいた個人情報は、主催者からの連絡・案内にのみ利用します。

	氏名(ふりがな)	所属	連絡先(電話番号)
1			
2			
3			

※点字資料、手話通訳等をご希望の場合は、その旨ご記入のうえ、2月10日(月)までにお申し込みください。

※お申込み確認票等は送付いたしませんので、ご来場の際は受付にてお名前をお伝えください。

【会場：大阪社会福祉指導センター5階ホール】

「谷町六丁目」駅下車③番出口より徒歩5分

※谷町六丁目駅付近工事にともない、

④番出口が閉鎖されています。

●お問合せ先

大阪府社会福祉協議会 総務企画部(森田・澤)

〒542-0065 大阪市中央区中寺1丁目1-54

大阪社会福祉指導センター内

TEL.06-6762-9471

FAX.06-6764-5374

